

2009年6月17日

ランクセス、アジア地域で 2 社を買収し、BRICs 戦略の基盤を強化

ランクセス株式会社

- インドのグワリオール・ケミカル・インダストリーズ社を 8,240 万ユーロで買収
- 中国の江蘇波力奥化工社を買収(買収額は非公開)
- 買収により基礎化学品ビジネスユニットを強化

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、BRICs 諸国における長期成長戦略の基盤強化を図るため、アジア地域で 2 つの企業の買収を発表しました。買収を発表したのは、インドのグワリオール・ケミカル・インダストリーズ社(Gwalior Chemical Industries、以下:グワリオール社)、および中国の江蘇波力奥化工社(Jiangsu Polyols Chemical、以下:江蘇化工)の 2 社です。

ランクセスの完全子会社であるランクセス・インド社は、上場企業であるインドのグワリオール社の化学品事業および資産を、8,240 万ユーロ(負債含む)で買収する事に合意しました。買収取引は、グワリオール社株主の正式承認と関係当局の認可を前提に、2009 年第 3 四半期末に完了する予定です。

さらに、ランクセスは中国を拠点とする江蘇化工の事業および製造資産も買収します。買収金額は非公開です。この買収取引は、2009 年第 3 四半期中に完了予定です。2006 年に設立された中規模の江蘇化工は、上海の西方にある溧陽(りつよう)にあります。

インドと中国での 2 件の買収は、ランクセスの BRICs 諸国での長期成長戦略において重要なステップとなります。今回のインドにおける初の企業買収は、ランクセスの基礎化学品ビジネスユニットの製品群を補強し、将来性あるインド市場の製造基盤を強化します。

グワリオール・ケミカル・インダストリーズ社の買収

1978 年に設立されたグワリオール社はムンバイに本社を構え、正社員約 400 人を擁しています。2009 年 3 月 31 日を期末日とする 2008-09 年度第 3 四半期の売上高は約 4,570 万ユーロで、EBITDA マージン(*1)は約 18%と、同産業の競合企業と比較しても高い比率を達成しています。グワリオール社の会長であるアシュウィン・コタリ(Ashwin Kothari)は、今回の買収によりランクセ

スの傘下となることで、グワリオール社の事業および従業員は能力を最大限に発揮できるようになる、と述べています。

グワリオール社は、ベンジル製品ではインドにおける最大手メーカーの1つであり、さらに農薬向け、医薬品向け、香料業界および芳香剤業界向けの塩化硫黄では世界有数のメーカーです。現在は、マディヤ・プラデシュ州ナグダとグジャラート州アンクレーシュワルに製造拠点がありますが、今後の製造は、現在、製造能力の増強を図っている最先端のナグダ製造拠点に集約されます。

ランクセスは、グワリオール社の化学事業買収にあたり、現在保有する流動資産から資金を調達します。この買収で、2010年時点での1株あたりの利益が上昇することを期待しています。

江蘇波力奥化工社の買収

江蘇化工の2008年の売上高は約1,000万ユーロで、競争力ある技術を備えた設備で約170人の従業員が勤務しています。主に、潤滑剤、塗料、コーティングに使用されるトリメチロールプロパン(TMP)を製造しています。ランクセスの基礎化学品ビジネスユニットは、すでに中国においてTMPの主要サプライヤーであり、江蘇化工はランクセスのグローバル事業展開に統合されます。

世界に約1,000人の従業員を擁するランクセスの基礎化学品ビジネスユニットは、農薬向け、ポリマー向け、表面コーティング向け、および顔料向け原料の有数のメーカーです。ドイツ、中国、米国の数カ所に製造拠点を置き、アドバンスト中間体部門(2008年売上高:13億ユーロ)に属しています。同部門は、農薬産業と関連しているため、不況下においてもランクセスの最も安定した事業の1つです。

ランクセスは、企業価値を高め、同社の製品群に戦略的に合致する中小企業に関心を持っています。今回の2件の買収は、2008年末に成功した、中南米有数の合成ゴムメーカーであるペトロフレックス社の買収に続くものです。

ランクセスは、インドにおいて市場シェアを拡大しつつあります。ランクセスはマハラシュタラ州ターネに本社を置き、タミル・ナドゥ州マデュライには、皮革用化学品と物質保護剤の製造拠点とともに、ランクセスの完全子会社であるラインケミーの製造拠点もあります。また、ランクセスはイオン交換樹脂の製造拠点を新設中で、ゴム薬品の製造拠点はグジャラート州ターネから同州ジャガディアへ移転中です。このプロジェクトは2010年に完了予定で、投資額は約5,000万ユーロです。

ランクセスのインドにおける従業員数は約200人で、2008年度の売上高は約1億1,500万ユーロを達成しました。ランクセスにとって、インドは中国に次ぐアジアで二番目の重要市場で、BRICs戦略に欠かせない国です。世界不況にもかかわらず、インドは今年度6%の成長率が予測されており、中流階級の生活水準向上は化学産業の需要を担う原動力です。中国のランクセスは、2008年に約3億8500万ユーロの売上を達成し、現在約900人の従業員が勤務しています。ランクセスの2008年のBRICs諸国での売上高は、総売上高の16%を占めています。

*1) EBITDAは、税引前利益に、減価償却費、および支払利息を加算した金額で、EBITDAマージンは、売上高に対するEBITDAの比率です。

#

このリリースは、ドイツ・レバークゼンで6月8日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-0116J)